

# 岩手教区報

第377号  
 立教187年5月1日  
 天理教岩手教務支庁  
 盛岡市馬場町3-40  
 TEL 019-622-7962  
 FAX 019-623-9597



## 被災地能登に向いて 主事・災救隊隊長 千葉道雄



今年3月、教区内に有志を募り、能登半島地震の被災地である珠洲市へひのきしんに行かせていただきました。能登自動車道を北上し、能登町のサルビアロードにある道の駅は閉鎖され、仮設トイレのみの状態でした。大きな被害を免れた珠洲市内にある2箇所教会が、ひのきしん者や一般ボランティアの方々の受け入れに尽力されておられ、その1つである北乃州分教会を拠点に活動しました。

瓦礫の撤去と土砂の搬出のひのきしんを終え、翌日は被災した地域を視察したのですが、完全に潰れて瓦礫と化した教会や住居、建物など、言葉にならない程胸が痛みました。中でも壊滅的な被害があったのは、観光名所でもある見附島にほど近い、宝立町鶴飼地区です。地震と津波、そして地盤隆起の被害によってもたらされた無残な光景は、テレビ等の映像を見て知ってはいましたが、実際に目にした時には、被害の甚大さに言葉が失いました。

三陸地方では、過去の教訓から、「津波でんてん」という津波襲来時の避難に関する言い伝えがあります。珠洲市三崎町下出地区では、震度6強と4メートルを超える津波が押し寄せましたが、90人余りの地域

住民に犠牲者は1人もいませんでした。この地区では東日本大震災のあと、市が避難所となる集会所への階段を整備し、「いざとなったら集会所」を合言葉に、毎年、津波を想定した防災訓練を実施していたとのこと。

何故このような災害が起こるのでしょうか。ある先人の書物に、「この世において起こることは、全て人間の思慮をはるかに超越する深い親心から発する御業である。人間は親神様の深い思召とその業の全てを到底窺い知ることはできない」と記されています。

真柱様は、災救隊結成50周年記念大会にメッセージを寄せられ、「親神様は、私たち人間をどこまでも成人させてやりたいと、時折いろいろな事情の姿をお見せになります。その、お見せいただくことが大難であるなら小難に、小難であるならば無難にとご守護いただくには、やはり教えを素直に実行することだと思っております。ひのきしんの実行は、教えの実行につながります」とお示し下されました。

今月、岩手教区隊は能登に出動させていただきます。被災地と人々の心の復興を願い、報恩感謝の心で救援ひのきしんに励みたいと思います。



## 「ひのきしん」

本欄の一角を担当させていただくことになりました。よろしくお願ひします。さて、春といえば「全教一斉ひのきしんデー」。恐縮ですが、若い頃の話からスタートしたいと思います。

大学院博士課程を終了後、1984年に私はドイツのフンボルト財団の奨学研究員として家内と共にヨーロッパに渡りました。最初の2年余はドイツに、1986年から2年半はフランスに在住ドイツではフランクフルト大学で研究生を送る傍ら、フランクフルト布教所を開設し、神様をお祭りさせていただきました。

1986年4月にチェルノブイリ原子力発電所の事故があり、フランクフルトにも大量の灰が降りました。その年の「ひのきしんデー」には、メッセ（見

本市会場）の大きな駐車場の清掃を行う予定でした。ひのきしん会場も強い放射能で汚染されているに違いありません。怖い、どうしよう。長男出産の直前でもあり、被曝の危険を冒してひのきしんを決行するかどうか家内と話し、決死の思いで清掃させていただきました。その後、福島に原子力事故が起こりました。今年も東日本大震災から13年。今も放射線に苦しむ福島の皆様と除染に携わる皆様のご苦労に思いが重なります。

フランスでは、かつてオリンピックが開催されたグルノーブルに住み、グルノーブル布教所を開設。かの地では勝手には清掃ができないので、「ひのきしんデー」には、郊外の空き地を見つけて、友人を誘い、家内と共に除草に出かけました。この時、私はガラスの破片で手にひどい怪我を負ってしまいました。そして、翌年の「ひのきしんデー」。昨年の怪我の記憶を引きずりながら、同じ場所に出かけました。ところが、そこは何と、きれいな公園に生まれ変わっていたのです。偶然の出来事だったのでしようが、私たちに、神様からのご褒美のように感じられたのでした。この世に起こる全ては神様からのメッセージ。嬉しいおたよりにアドレナリンが出たりします。人工知能AIや量子コンピュータなど新

### 教区役職変更

道友社代表社友  
 高橋 邦之 (4月25日付)  
 少年会団長  
 高橋 邦和 (4月26日付)

### 行事予定 【5月分】

- 1日 役員会議 (10時)
- 11日 教務支庁屋根塗替え (12日)
- 13日 学生担当委員会例会 (19時30分)
- 13日 災救隊出動 (輪島市17日)
- 18日 婦人会例会 (10時)
- 18日 女子青年例会 (10時)
- 青年会「岩手っ子だよ！」
- 全員集合in天理 (19日)

しい科学技術が、今、世界の大きな話題となつています。ChatGPTなどの生成AIは私たちの未来を変えてしまうのでしょうか？ 時代の急速な流れも心配ですね。これらはみな神様から私たちへのおたよりであり「ためし」かも知れません。神様との新しい会話の始まりにワクワクする今日この頃です。





今年度の勉強会において、青森教区青年会は年祭活動に当たり「おやすみ」という言葉を打ち出し、

教区青年会は、去る4月13日(土)14時より、教務支庁を会場に、「三年千日勉強会」を実施し、6人が参加した。今回、青森教区青年会からの参加も得て、プログラム前に自己紹介と両青年会の活動紹介を行なった。

## 青年会

### 「三年千日勉強会」報告

最後に、教務支庁周辺の神名流しを行い勉強会を終了した。

今回の勉強会において、青森教区青年会は年祭活動に当たり「おやすみ」という言葉を打ち出し、

「困った時だけの教祖」「ありがたい時だけの教祖」ではなく、常に教祖を身近に感じられるように努力したいという趣旨の話がなされ、その言葉がとても印象的だった。両青年会の親睦が深められた、有意義な勉強会となった。

### 「岩手つ子だヨ！全員集合in天理」

【5月18・19日】

教区青年会では、5月18日(土)、19日(日)の両日、おちばに於いて、「岩手つ子だヨ！全員集合in天理」を開催します。これは、天理及び近郊に住まう岩手出身の若者を対象に、横の繋がりを深める一助として、共に道を歩む仲間作りを目的にしています。今回は、夜の部と昼の部の2部構成での開催です。一人でも多くの参加をお待ちしています。

#### 夜の部

内容 懇親会(天理市内の飲食店)  
日時 5月18日(土) 19時～21時  
対象 20歳以上  
参加費 2000円(学生1000円)

#### 昼の部

内容 境内地ひのきしん、

去る3月16日、17日の両日、石川県珠洲市において、救援ひのきしんを実施。災害隊員など有志5人が参加し、瓦礫の撤去や土砂の搬出に汗を流した。

今回は、来たるべき本部隊出動に備え、視察を兼ねての実動となった。



## 災害隊

### 「能登半島救援ひのきしん」報告

日時 5月19日(日) 10時～  
集合 南礼拝場前  
対象 高校生以上  
参加費 500円(学生無料)  
※問合せ・申込は村松委員長迄。5月11日〆切。



## 学生担当委員会

### 「春の学生おちばがえり」

#### 団参報告



教区学生会は、去る3月28日、本部中庭において開催された、「春の学生おちばがえり」にマイククロバスで帰参し、学生15人(現地参加含む)、担当者5人、計20人が参加した。

手を出発し、27日朝おちば到着。今回は、青森、宮城、山形、北海道の各教区と合同で津軽詰所に宿泊となった。午後からの「ホクホク東北・北海道交流会」では、総勢80人余の交流会となり、他教区との親睦を深めた。夕食後は、東西泉水プール前広場で行われた「春Fes」に参加。各テントブースでは様々な趣向を凝らしたゲーム、ステージではダンスやバンド演奏などが行われ、学生達は楽しいひと

ときを過ごした。

28日の式典当日は、快晴のご守護のもと、真柱様よりメッセージを戴き、実行委員長挨拶、決意表明、「道の学生成人目標」を唱和して、教祖百四十年祭に向けた歩みを進めることを誓い合った。式典後、各直属にわかれて、「直属アワー」が行われ、他教区の学生に見送られる中、夕刻岩手への帰路についた。



## 祭事部

### 「祭儀式勉強会」報告

教区祭事部は、去る3月31日(日)、教務支庁を会場に「祭儀式勉強会」を開催し、17人が参加した。

今回は、基本作法と「告別式」の祭儀式、そして、教会本部祭儀委員会より改訂された内容を反映した勉強会となった。近年、葬祭場を使用されることが増えており、またコロナ禍での家族葬や斎員を少人数にして執行される現状にも対応できるように、5人制、2人制の立式の祭儀式を学ばせて頂いた。

初めに、講師の鈴木眞理祭事部長が、今回の改訂点について説明した。続い

て、基本作法の説明と実技、「告別式」の作法と実技を参加者全員が交代でつとめ、祭儀式の習得に励んだ。

最後に、質疑応答が行われ解散となった。



### 第2回「ようばく」斉活動日

#### 岩手教区会場一覧

開催日	会場	開催日	会場
立教187年6月1日(土)	三陸支部 釜石港分教会	立教187年6月2日(日)	南陸中分教会
	10時		13時
	奥州支部 岩手原分教会		北福岡分教会
	9時半		10時
	九戸支部		教務支庁
	13時		9時45分
	二戸支部		花巻支教会
	10時		13時
	盛岡支部		磐井分教会
	13時		13時
	花巻支部		
	13時		
	県南支部		
	13時		

参加御供 300円(中学生以下不要)